

※文字の大きさは Meiryo UI /12 ポイント以上とし、行間・文字間、上下左右の余白は変更しないでください。
 ※具体的に示したい図、写真、表、グラフなどは、(写真1) (表1) などと文中に記載し、右ページに(写真1) (表1) などと表記の上、貼り付けてください。
 ※文章と図等を組み合わせながら作成することも可能です。各項目の枠の上下幅は変更可能です。
 ※いずれの場合も、必ず A 3 片面 1 枚におさまるように作成してください。ファイルサイズは 5 MB 以下としてください。

エントリー学校名： 富山県 入善町立 入善小学校

活動名： 笑顔で子供の前に～教師の自己肯定感を高める～

解決すべき課題：

- ①先生は日々の仕事に追われて目の前の子供に笑顔で接することができていない。
- ②先生は実は様々な特技があるのに仕事に生かされていない。

目標・方針：

先生は体育の指導が得意、習字が得意、パソコンに堪能、外国語に堪能等様々な趣味や特技がある。これらを生かして先生自身の自己肯定感を高めたり教育活動で実践できる技を身に付けたりすることで、先生が子供たちの前で自信をもって笑顔で接することで教育効果を高める。

活動内容：


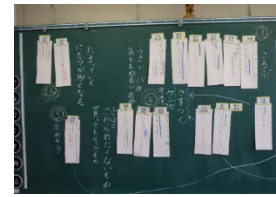

- ・先生の趣味や特技を生かし、講師として指導を行う。
- ・講習で学んだことを教育実践する。

- ①学級目標の作り方②体育科の指導法③道徳科別葉作り④外国語科指導法
- ⑤エピペンの使い方⑥習字指導法⑦通級指導教室について
- ⑧ピジョントレーニングについて⑨かるたの世界

学年	人数	曜日	内容
1年	15名	水曜日	算数・国語の指導
2年	15名	水曜日	算数・国語の指導
3年	15名	水曜日	算数・国語の指導
4年	15名	水曜日	算数・国語の指導
5年	15名	水曜日	算数・国語の指導
6年	15名	水曜日	算数・国語の指導

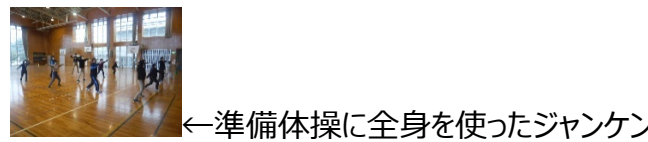

活動の成果：

- ①学級開きという一番大切な時期が実は最も忙しい時期である。忙しいを言い訳にしていると学級崩壊を招く恐れがある。忙しい中で如何にして学級開きを行っていくかについて学ぶことができた。

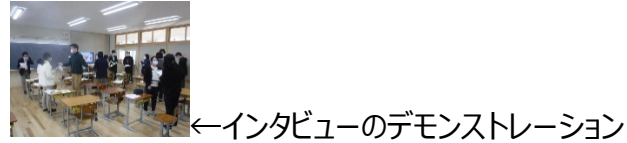




学級開きではまずルール作りが大切である。子供たち自身がルールを考えることで自律の意識が生まれる。


- ②体育の授業は先生の我流で進めていることが多い。体育の授業で即取り入れることができた。

- ③新指導要領実施に伴って道徳科の価値項目との関連を見直した。
- ④外国語科全面実施となったことに合わせて教科書を見て英語専科とALTによる模擬授業を行った。



- ⑤アレルギーは子供の命に関わる。DVDを視聴し、エピペンの使い方を学び、キットを使って実際に練習した。



⑥習字はきれいな整った字が評価されることが多い。しかし、それが子供たちを習字嫌いさせている。そこで、ねらいを絞った授業にすることで子供たちが褒められる時間に変わる。例えば、「幸福」という字。ねらいは「画の長短を意識して文字を書く能力を身に付けさせること」である。「幸」の四本ある横画を「一本だけ長く」することだけを意識させる。そこができていたら褒めてやる。「福」の字は気になるが「幸」の横画だけを教師も見つめて評価する。




←「次の画へのつながり」を意識させた。バランスの悪い字でも「この点だけ」をほめることができる。

⑦通級指導教室の意義や普段どんなことを行っているか等について学習した。



⑧ピジョントレーニングとは、視力以外の視覚機能を鍛えるトレーニングのことである。先生自身も視覚機能が低い可能性もある。



⑨日本には今たくさんの「かるた」が存在する。休み時間、特に冬場で遊べない時に有効である。「かるた」をすると、友達と取札の数を競い合う積極性や、勝敗による感情をコントロールする経験等、コミュニケーション能力の育成にもつながる。また、歴史かるた、ことわざかるた等、楽しみながら知識を身に付けることができる。



アピールポイント (アイデアや工夫)：

臨時休業によって生まれた時間を利用しているところ。

先生が講師となったり実践で使える技を身に付けたりすることで、先生の自己肯定感を高められるところ。

子供たちへの教育にも還元できるところ。